クイック スタート ガイド

日本語

Prinergy Direct 3.0

731-00056C-JA 改訂 B

www.creo.com

Prinergy Direct 3.0

クイック スタート ガイド

creo™

著作権

Copyright © 2005 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本書は、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本書を複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、本書全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Distiller、Photoshop、PostScript、および PageMaker は、Adobe Systems, Inc. の商標です。

Apple、iMac、Power Macintosh、AppleShare、AppleTalk、TrueType、ImageWriter および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

PANTONE、Hexachrome、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は、Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLsetter、PEARLhdp、PEARLdry、および PEARLgold は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX®、The Document Company®、および digital X® は、XEROX CORPORATION の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害（損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません）、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害（本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません）についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,412,737	5,699,174	6,014,471	6,189,452	6,396,422	6,579,660
D478,608	5,420,702	5,699,740	6,016,752	6,191,882	6,407,849	6,587,211
4,558,302	5,420,722	5,708,736	6,043,865	6,204,874	6,409,331	6,589,710
4,743,091	5,459,505	5,713,287	6,060,208	6,205,364	6,414,755	6,590,635
4,992,864	5,473,733	5,742,743	6,063,528	6,208,369	6,422,801	6,593,064
5,049,901	5,481,379	5,764,374	6,063,546	6,214,276	6,425,565	6,601,888
5,113,249	5,488,906	5,771,794	6,072,518	6,217,965	6,430,136	6,605,407
5,132,723	5,508,828	5,785,309	6,090,529	6,252,241	6,435,091	6,609,459
5,155,782	5,509,561	5,802,034	6,093,447	6,252,522	6,441,914	6,611,363
5,157,516	5,517,359	5,813,346	6,096,461	6,255,033	6,443,571	6,618,187
5,177,724	5,519,852	5,818,498	6,098,544	6,260,482	6,450,092	6,628,435
5,208,818	5,576,754	5,854,883	6,107,011	6,266,080	6,456,396	6,632,584
5,208,888	5,579,115	5,861,904	6,112,663	6,266,134	6,471,335	6,637,329
5,247,174	5,583,551	5,861,992	6,115,056	6,267,054	6,476,342	6,637,860
5,249,067	5,592,309	5,875,288	6,116,160	6,268,948	6,476,931	6,640,713
5,283,140	5,594,556	5,894,342	6,121,996	6,270,204	6,477,955	6,641,772
5,291,273	5,600,448	5,900,981	6,130,702	6,283,589	6,493,064	6,641,978
5,305,091	5,608,822	5,934,196	6,134,393	6,295,076	6,494,965	6,646,669
5,323,248	5,615,282	5,946,426	6,136,509	6,299,572	6,503,691	6,648,468
5,325,217	5,625,397	5,947,028	6,137,580	6,318,266	6,509,903	6,652,088
5,339,176	5,625,766	5,958,647	6,147,789	6,328,408	6,511,163	6,654,147
5,343,059	5,636,330	5,966,504	6,158,345	6,336,708	6,520,084	6,660,997
5,355,446	5,649,220	5,969,872	6,159,659	6,340,817	6,530,317	6,661,561
5,359,451	5,650,076	5,973,801	6,164,637	6,352,816	6,541,181	6,665,048
5,359,458	5,652,804	5,986,819	6,165,658	6,353,216	6,544,336	6,665,121
5,367,360	5,680,129	5,995,475	6,180,325	6,366,339	6,545,772	6,670,986
5,384,648	5,691,823	5,996,499	6,181,362	6,371,026	6,550,388	6,684,783
5,384,899	5,691,828	5,998,067	6,181,439	6,377,739	6,564,018	6,704,123
5,412,491	5,696,393	6,003,442	6,186,068	6,387,597	6,567,713	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話： +1.604.451.2700
FAX： +1.604.437.9891
http://www.creo.com
ドキュメント番号 731-00056C-JA 改訂 B
２００５年１２月改訂

目次

1 概要 1

このガイドの対象読者 2
詳細について 2
Prinergy Direct について 3
Prinergy 製品群 3
構成：クライアントとサーバー 4

2 使用方法 7

Workshop の起動 8
ジョブ ファインダ 9
ジョブ マネージャー 10
プロセス テンプレートの使用 11
［プロセス テンプレート］ウインドウ枠 11
プロセスの開始 12
Workshop のカスタマイズ 13

3 ワークフロー概要 15

Prinergy Direct ワークフロー 16
一般的なインポート／エクスポート ワークフロー 16
面付け済みフラットのワークフロー 17

4 ジョブの設定 19

ジョブの設定 20
ジョブの作成 20
新規ジョブの作成 20
インポートによるジョブの作成 21
プリジョブの設定 22
ホット フォルダの設定 22
ジョブ属性とステータスの設定 24
カラーの編集 24
フォント処理 25
画像検索パスの追加 26

5 ファイルの追加と処理 27

顧客入力ファイルの追加 28
リファイン 28
リファイン時の留意点 29

6 プルーフ、プレート、およびフィルム 31
プルーフ、プレート、およびフィルムの作成 32
出力時の留意点 32
分版 32
キャリブレーション 33
スクリーニング 33
面付けプルーフの作成 33
他のプルーフ方法 34
承認 34
プレートまたはフィルムの作成 35

7 ファイルの管理 37
ジョブのアーカイブ 38
アーカイブ情報の表示 38
ジョブの完了 39

8 ジョブの監視 41
アクティブなプロセスのチェック 42
［プロセス］ウィンドウ枠 42
動的な列 43
［処理情報］ダイアログ ボックス 43
処理状況のアイコン 44
ジョブおよびエレメントに関する情報を見る 44
キュー マネージャーの確認 45
ジョブ履歴の確認 45
システム履歴の確認 46

A サポートされているファイル形式 47
入力ファイル形式 48
出力ファイル形式 48

用語集 51

索引 55

1 概要

このガイドの対象読者 2

Prinergy Direct について 3

Prinergy 製品群 3

構成：クライアントとサーバー 4

このガイドの対象読者

本ガイドは、Prinergy Direct® software 3.0 を初めて使用するユーザーを対象としています。Prinergy Direct を説明し、システムを使用し始める際の参考として作成されました。

このガイドを使用するには次の知識が必要です。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® オペレーティング システムに関する知識
- Macintosh® オペレーティング システムに関する知識

このガイドは、以下を想定して記述されています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している。
- Creo システムに送信されるファイルは、プリフライトで解消できるような、不明フォントや PostScript® エラーなどの一般的な問題がない。

詳細について

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、サービス、サポートについては、www.creo.com にアクセスしてください。



Prinergy Workshop の詳細については、Workshop オンライン ヘルプを参照してください。オンライン ヘルプでは、Prinergy Direct の機能、Prinergy Direct の作業手順、および Prinergy Direct のオプションについて説明します。

オンライン ヘルプにアクセスするには

- ダイアログ ボックスの［ヘルプ］アイコン をクリックします。
- ［**ヘルプ**］メニューから［**オンライン ヘルプ**］を選択します。



Prinergy システム管理ガイドでは、Prinergy システムの概要を提供し、システム設定とバックアップの方法について説明します。

Prinergy Direct について

Prinergy Direct は、Prinergy® システムの簡易バージョンで、以下を行うことができます。

- 面付け済みのファイルを受け取る印刷会社用フラット ベース ワークフロー
- Prinergy Connect または Prinergy Powerpack® を持つ複数拠点のある印刷会社の遠隔での刷版作業

両方の場合とも、Prinergy Direct は、さまざまなプルーフィング用および出力デバイスに出力します。



注意：ライセンスが必要な機能については、まずライセンスをご購入いただき、Prinergy Direct の機能を有効にする必要があります。詳細については、担当営業までお問い合わせください。

Prinergy 製品群

Prinergy Direct は、以下の Prinergy 製品群の一部です。

Prinergy Connect — ページ処理、面付け、フィルムまたは版作成を必要とする商業印刷と出版用の仕様がすべて装備された Prinergy システムです。

Prinergy Direct — 面付けされた入力ファイルを受け取り、さまざまなプルーファおよび出力デバイスに出力する Prinergy システムです。このシステムでは、複数拠点を持つ印刷会社の遠隔での出力作業、または既に面付け工程が確立されている印刷会社のために経済的なソリューションを提供します。

Prinergy Powerpack — オフセット印刷、フレキソ印刷、およびグラビア印刷パッケージ プリンタ用に設計された Prinergy システムです。

Director — 別のワークフロー プロセッサ、Brisque® のジョブおよびファイルを管理する Prinergy システムです。

Prinergy Publish — ページ準備用に構成された Prinergy システムです。Prinergy Publish では Prinergy システムなど、製版の後工程で使用するワークフロー用の形式に入力ファイルを変換します。

関連製品

Preps® — 商業印刷業用面付けソフトウェアです。

Pandora® — パッケージ レイアウトを作成するステップ&リピートのソフトウェアです。

構成：クライアントとサーバー

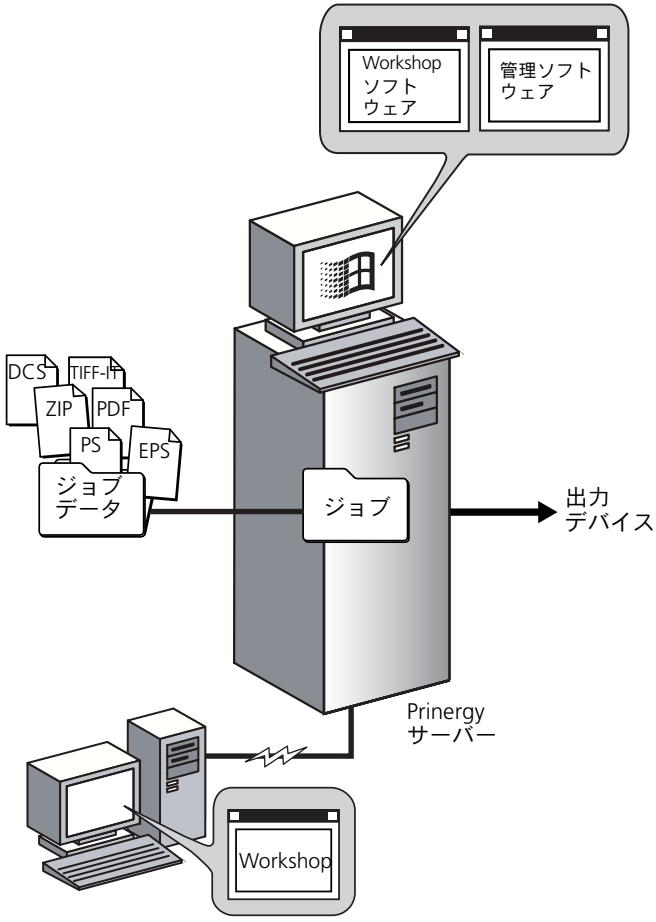
標準 Prinergy Direct のシステムには、サーバー ソフトウェアとクライアント ソフトウェアを実行するコンピュータが 1 台あります。クライアント コンピュータを追加することもできます。

クライアント ソフトウェアは、Workshop と呼ばれます。これは Prinergy Direct システムに対するメイン ユーザー インターフェイスです。このアプリケーションを使用してジョブを作成、編集、および監視します。

サーバー ソフトウェアは、Prinergy サーバーと呼ばれます。Workshop からの要求に対応し、ジョブ情報を保存する Oracle® データベースを管理します。



Prinergy サーバーに関する詳細については、「 Prinergy システム管理ガイド」を参照してください。


Workshop
ソフト
ウェア
管理ソフト
ウェア
DCS
TIFF-IT
ZIP
PDF
PS
EPS
ジョブ
データ
ジョブ
出力
デバイス
Prinergy
サーバー
Workshop

2

使用方法

Workshop の起動 8
ジョブ ファインダ 9
ジョブ マネージャー 10
プロセス テンプレートの使用 11
Workshop のカスタマイズ 13

Workshop の起動



Workshop を起動するには

1. クライアント デスクトップ上にある［Workshop］アイコンをダブルクリックします。

   ［サーバーに接続］ダイアログ ボックスが表示されます。

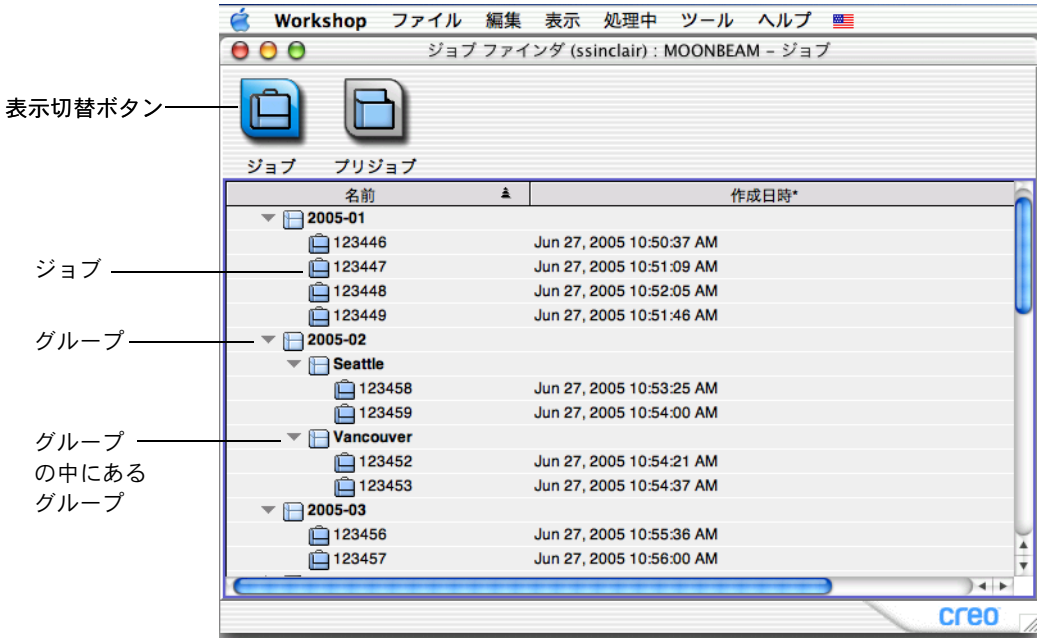
   ［**更新**］ボタンは無視します。Prinergy Direct は Acrobat へのプラグインをインストールしないため、このボタンは常に使用可能になっています。Prinergy Direct では、Workshop のインストール後、最初に起動したときのみ更新する必要があります。詳細は、Workshop のオンライン ヘルプを参照してください。

2. ［**ユーザー名**］ボックスに、ユーザー名を入力します。
3. ［**パスワード**］ボックスに、パスワードを入力します。
4. ［**ログイン**］をクリックします。

   ［ジョブ ファインダ］が表示されます。これで、Workshop を使用する準備ができました。

ジョブ ファインダ

［ジョブ ファインダ］は、Workshop を起動すると表示される最初のウィンドウです。



［ジョブ ファインダ］は、ジョブを作成、開く、およびグループ化して整理する場合に使用します。

ジョブ ファインダには、［**ジョブ**］表示と［**プリジョブ**］表示の 2 つの表示があります。プリジョブは、ジョブと類似していますが、エクスポートされたジョブの処理に使用されるか、または複数のジョブで使用されるエレメントを保存するテンプレートとして使用されます。22 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。

ジョブ マネージャー

ジョブ ファインダのジョブをダブルクリックするとジョブ マネージャーが開きます。



ジョブ マネージャーは、ジョブを操作する場所です。［ジョブ マネージャー］の上のボタンを使用して、以下の表示のいずれか 1 つを選択できます。

色版 — ジョブ内の色版ごとの情報を表示します。色版の表示、プルーフの作成、および最終出力の作成ができます。

ストレージ — ジョブでアーカイブされたすべてのファイルを一覧表示します。ジョブ ファイルのストレージ ステータスを確認して、アーカイブ、パージまたは読み込みができます。この機能には、別途ライセンスが必要です。

履歴 — ジョブの詳しい履歴を表示します。

プロセス テンプレートの使用

プロセス テンプレートは Prinergy Direct にプロセスの実行方法を伝える、オプションおよび設定が含まれるファイルです。プロセス テンプレートは繰り返しの多い作業を自動化します。設定はあらかじめ定義されているため、プロセス テンプレートを使用すると一貫した結果を得ることができます。

プロセス テンプレートには、以下が含まれます。

- リファイン
- 面付けプルーフ（出力）
- 最終出力
- インポート
- アーカイブ、パージ、および読み込み（別途ライセンスが必要です）

[プロセス テンプレート] ウインドウ枠

プロセス テンプレートはすべて、[ジョブ マネージャー] の [プロセス テンプレート] ウインドウ枠に一覧表示されます。

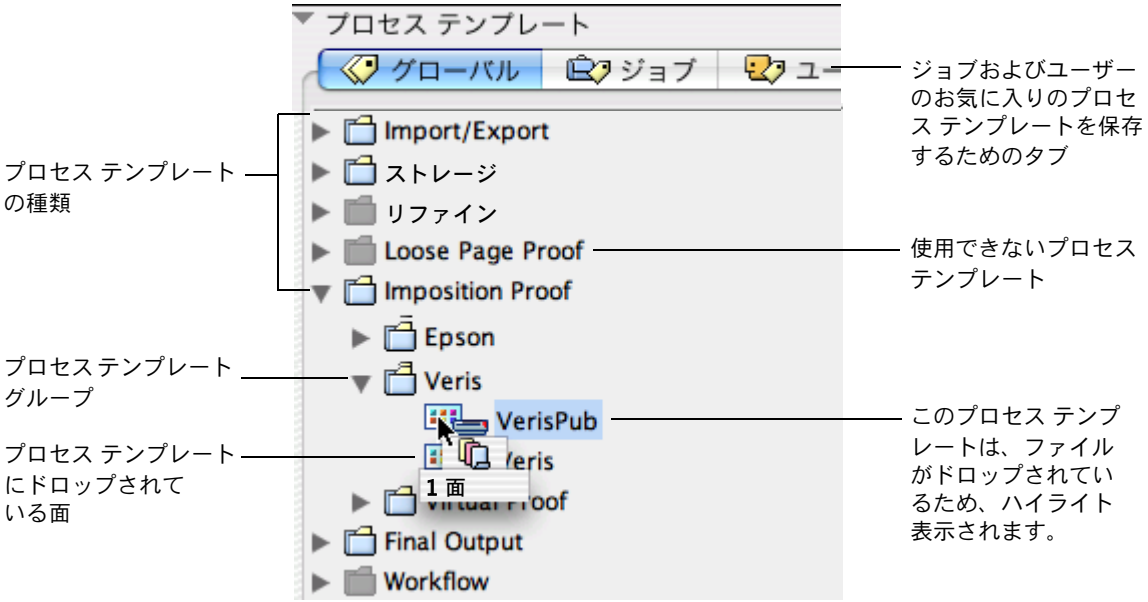
Prinergy Direct サーバーにある Prinergy システムには多くのプロセス テンプレートがあります。各プロセス テンプレートは特定の条件に応じてカスタマイズされています。お気に入りのプロセス テンプレートに迅速にアクセスするため、そのプロセス テンプレートを [プロセス テンプレート] ウインドウ枠の [ジョブ] タブまたは [ユーザー] タブへ追加します。14 ページの「ジョブおよびユーザーのお気に入りの設定」を参照してください。

プロセス テンプレートの使用

プロセス テンプレートは、プロセス テンプレートを実行できるエレメントを選択したときのみ使用できます。

何も選択されていないと、プロセス テンプレートは使用できません。プロセス テンプレートはグレー表示され、そのプロセス テンプレートをエレメントに適用して開始することができません。たとえば、ジョブを最初に開いたときに使用できるプロセス テンプレートはありません。

エレメントを選択すると、エレメントに適したプロセス テンプレートが使用できます。プロセス テンプレートがカラー表示され、選択したエレメントでそのプロセス テンプレートを開始できます。たとえば折丁を選択すると、面付けプルーフ プロセス テンプレートを使用することができます。



プロセスの開始

Workshop の最も一般的な操作の 1 つが、プロセスの開始です。どのエレメントも、いずれかのプロセスを実行できます。たとえば、入力ファイルのリファイン、プルーフの作成、フィルムまたはプレートの作成、およびジョブ ファイルのアーカイブを実行します。

通常、処理するエレメント、次に処理するプロセス テンプレートを選択して、プロセスを開始します。たとえば、面付けを面付けプルーフ プロセス テンプレートにドラッグします。

［プロセス テンプレート］ウインドウ枠には、ワークフロー テンプレートも含まれています。

プロセスを開始するには

1. ファイルを選択します。
2. 選択したファイルを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠にドラッグして、プロセス テンプレートにドロップします。



ヒント： また、選択したファイルを右クリックしてメニューを表示し、プロセス テンプレートを選択します。または［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のプロセス テンプレートを右クリックして、［**処理を開始**］を選択します。

3. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、必要に応じてオプションを編集します。

   必要に応じて、［**プロセス テンプレートの編集**］をクリックしてプロセス テンプレートを修正し、［**OK**］をクリックして、プロセスを開始する前にプロセス テンプレートを修正します。

4. ［**OK**］をクリックして、処理を開始します。

Workshop のカスタマイズ

Workshop および表示する情報をカスタマイズできます。

Workshop 環境設定

［Workshop 環境設定］ダイアログ ボックスのオプションを変更することによって、Workshop での情報の表示方法を制御できます。

Workshop は、ログオン ID ごとにワークステーションに環境設定ファイルを保存するため、他のオペレータとワークステーションを共有している場合でも個々の環境設定が維持されます。複数のワークステーションを使用する場合は、固有の環境設定ファイルは各ワークステーションに保存されます。

［Workshop 環境設定］ダイアログ ボックスを開くには、［**編集**］>［**環境設定**］を選択します。

列の表示および非表示

［**表示項目**］ダイアログ ボックスで、ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャーの各のウインドウ枠に表示する列を選択できます。

列を表示または非表示するには、［**表示**］>［**表示項目**］を選択します。

Prinergy Direct 処理を実行する場合、処理に関する情報のある列が自動的に挿入されます。45 ページの「キュー マネージャーの確認」を参照してください。

異なる条件で一覧を並べ替える

特定の項目を基準に一覧を並べ替えるには、その列のタイトルをクリックします。

たとえば、［**リファインされた日付**］列のタイトルをクリックして、ファイルがリファインされた日付ごとに並べ替えます。

三角形をクリックして一覧を表示または非表示

一覧を表示するには、右向きの三角形 ▷ をクリックします。一覧を非表示にするには、下向きの三角形 ▽ をクリックします。

ジョブおよびユーザーのお気に入りの設定

よく使用するプロセステンプレートを［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の［**ジョブ**］および［**ユーザー**］タブへ配置できます。［**ジョブ**］タブのプロセス テンプレートは、そのジョブを操作するユーザーなら誰でも使用できます。［**ユーザー**］タブのプロセス テンプレートは、そのユーザーならどのジョブでも使用できます。11 ページの「［プロセス テンプレート］ウインドウ枠」を参照してください。

プロセス テンプレートを［**ジョブ**］または［**ユーザー**］タブへ追加するには、［**ジョブ**］メニューから［**ジョブ／ユーザーのお気に入りの設定**］を選択します。

3

ワークフロー概要

Prinergy Direct ワークフロー 16
一般的なインポート／エクスポート ワークフロー 16
面付け済みフラットのワークフロー 17

Prinergy Direct ワークフロー

Prinergy Direct では、次の 2 つのワークフローから選択できます。

- 出力用にエクスポートされたジョブを受け取るインポート／エクスポート ワークフロー
- 出力用に面付けされたフラットを受け取る面付けフラット ワークフロー

一般的なインポート／エクスポート ワークフロー

インポート／エクスポート ワークフローでは、システムで出力するジョブを別の Prinergy システムで設定します。

これは、ハブ＆スポーク ワークフローとも呼ばれます。通常、Prinergy Connect または Prinergy Powerpack が中心となる環境（ハブ）にあり、Prinergy Direct はスポークとして遠隔地にあります。

インポート／エクスポート ワークフローの手順は以下のとおりです。

1. 中央の Prinergy システムで、プルーフを作成する準備ができたワークステーションへジョブを設定します。
2. プルーフを作成します。

   ソフト プルーフ（コンピュータの画面上に表示）またはハード プルーフ（プリント アウト）の両方を作成することができます。

   第 6 章の「プルーフ、プレート、およびフィルム」を参照してください。
3. ジョブをエクスポートし、.zip ファイルを遠隔の Prinergy システムへ送信します。
4. 遠隔の Prinergy システムで .zip ファイルをインポートします。

   Prinergy Direct では、インポートする唯一の方法として、ホット フォルダを使用します。インポート テンプレートを関連付けたホット フォルダをプリジョブに設定します。次にエクスポートされたジョブをホット フォルダにドロップすると、Prinergy Direct が自動的にジョブを作成します。

   21 ページの「インポートによるジョブの作成」を参照してください。

5. プレートまたはフィルムに出力します。

   35 ページの「プレートまたはフィルムの作成」を参照してください。

6. ハブでジョブをアーカイブします。

   38 ページの「ジョブのアーカイブ」を参照してください。

面付け済みフラットのワークフロー

Prinergy Direct では、面付け済みフラットを折丁にリファインします。

フラット ベース ワークフローの手順は以下のとおりです。

1. Preps、Pandora、InDesign、またはその他のソフトウェアで、面付けフラットを作成します。
2. Prinergy Direct で、リファイン プロセス テンプレートに関連付けられたホット フォルダを設定したジョブを作成します。

   第 4 章の「ジョブの設定」を参照してください。

3. ホット フォルダにファイルをドロップします。

   Prinergy Direct は、自動的にファイルをリファインし、折丁が作成されます。第 5 章の「ファイルの追加と処理」を参照してください。

4. 面付け済みプルーフを作成します。

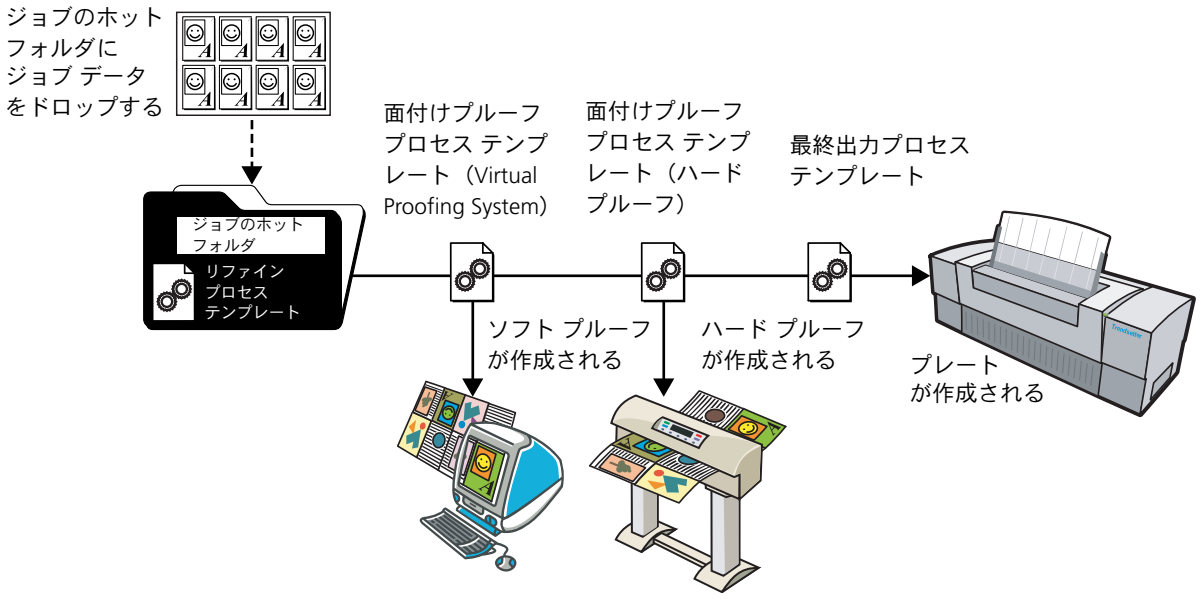
   第 6 章の「プルーフ、プレート、およびフィルム」を参照してください。

5. プレートまたはフィルムに出力します。

   第 6 章の「プルーフ、プレート、およびフィルム」を参照してください。

6. ジョブをアーカイブします。

   第 7 章の「ファイルの管理」を参照してください。


ジョブのホット
フォルダに
ジョブ データ
をドロップする
ジョブのホット
フォルダ
リファイン
プロセス
テンプレート
面付けプルーフ
プロセス テンプ
レート（Virtual
Proofing System）
面付けプルーフ
プロセス テンプ
レート（ハード
プルーフ）
最終出力プロセス
テンプレート
ソフト プルーフ
が作成される
ハード プルーフ
が作成される
プレート
が作成される

4 ジョブの設定

ジョブの設定 20
ジョブの作成 20
ジョブ属性とステータスの設定 24
カラーの編集 24
フォント処理 25
画像検索パスの追加 26

ジョブの設定

ジョブを設定するには、以下の操作を実行します。

1. ジョブを作成します。

   20 ページの「ジョブの作成」および 22 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。

2. ジョブの属性およびジョブのステータスを設定します。

   24 ページの「ジョブ属性とステータスの設定」を参照してください。

3. 必要に応じて、カラー情報を追加します。

   24 ページの「カラーの編集」を参照してください。

4. 必要に応じて、フォント検索パスを追加します。

   25 ページの「フォント処理」を参照してください。

5. 必要に応じて、画像検索パスを設定します。

   26 ページの「画像検索パスの追加」を参照してください。

ジョブの作成

出版物の作業を開始する際、ジョブを作成する必要があります。新しいジョブを作成するか、エクスポートしたジョブをインポートできます。

新規ジョブの作成

新しいジョブを作成するには

➢ ［ジョブ ファインダ］の［**ファイル**］メニューで、［**ジョブの新規作成**］を選択します。

テンプレート ジョブの使用

新規ジョブを作成する際、既存のジョブまたはプリジョブから設定情報をコピーできます。既存のジョブまたはプリジョブは、テンプレート ジョブと呼びます。

ホット フォルダや画像検索パスなど、さまざまな種類の設定情報をコピーできます。

テンプレート ジョブを使用するには

➢ ［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで、［**オプション**］、［**テンプレート ジョブ**］を順に選択します。

インポートによるジョブの作成

既存のジョブを別の Prinergy Direct システムからインポートして、ジョブを作成できます。エクスポートは .zip ファイルです。インポート プロセス テンプレートが、インポートに関する設定を制御します。

Prinergy Direct は、エクスポート ファイルが特定のフォルダにドロップされるたびに、新規ジョブを自動的に作成します。

ジョブは、プリジョブがあるサーバーのルートに作成され、エクスポート ファイルと同じ名前が付けられます。

インポート用プリジョブを設定するには

1. プリジョブを作成します。22 ページの「プリジョブの設定」を参照してください。
2. プリジョブでホット フォルダを作成し、インポート プロセス テンプレートを使用してファイルを追加および処理するように設定します。22 ページの「ホット フォルダの設定」を参照してください。

ジョブを作成するには

➢ エクスポートされたジョブをホット フォルダにドロップします。

インポート（追加分）

ジョブの一部を既存のジョブに追加することもできます。ジョブの一部を追加するには、既存のジョブに ImportIncremental プロセス テンプレートに関連付けられた「追加して処理する」ホット フォルダを設定します。エクスポート ファイルをホット フォルダにドロップすると、Prinergy Direct はインポート ファイルをジョブに追加します。

プリジョブの設定

プリジョブはジョブと類似していますが、複数のジョブを使用するエレメントを保存する際に使用されます。

プリジョブは、以下のように使用すると便利です。

- エクスポートされたジョブをプリジョブ ホット フォルダにドロップして、自動的にジョブを作成する。20 ページの「ジョブの作成」を参照してください。
- ロゴなどの多くジョブで使用されるエレメントを収集する場所として使用する。20 ページの「テンプレート ジョブの使用」を参照してください。

プリジョブは、[ジョブ ファインダ] の [**プリジョブ**] 表示で表示されます。

プリジョブを作成するには

1. ［ジョブ ファインダ］で、［**プリジョブ**］をクリックします。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリジョブの新規作成**］を選択します。

ホット フォルダの設定

ホット フォルダは、ファイルがホット フォルダにドロップされると、自動的に操作を実行することによってワークフローを自動化します。

ファイルをジョブに追加するだけのホット フォルダ、およびファイルを追加して処理を開始するホット フォルダの 2 種類のホット フォルダを作成できます。

ファイルの処理を開始するホット フォルダには、ホット フォルダに関連付けられたプロセス テンプレートがあります。ファイルをホット フォルダに追加すると、Prinergy Direct はプロセス テンプレートの指定通り、ファイルを自動的に処理します。

ホット フォルダの一般的な使用方法は以下の通りです。

- エクスポートされたジョブのインポート。20 ページの「ジョブの作成」を参照してください。
- 入力ファイルの追加およびリファイン。28 ページの「顧客入力ファイルの追加」を参照してください。たとえば、入力ファイルを追加するだけのホット フォルダに、デスクトップ パブリッシング ソフトウェアから書き出した PostScript を直接ドロップすると、ファイルはホット フォルダが設定されているジョブに自動的に追加されます。

ジョブのホット フォルダを作成するには

1. ジョブを開きます。
2. ［**ジョブ**］メニューから［**ホット フォルダの設定**］を選択します。
3. ［ホット フォルダの設定］ダイアログ ボックスで、［**追加**］をクリックします。
4. ［ジョブに対するホット フォルダの作成］ダイアログ ボックスで、以下のオプションを選択します。
   - 入力ファイルを追加するだけのホット フォルダについては、［**入力ファイルの追加のみ**］を選択します。
   - ファイルを追加して処理するホット フォルダについては、［**ファイルの処理**］を選択します。
5. ファイルを追加して処理するホット フォルダを作成する場合は、ホット フォルダに関連付けるプロセス テンプレートを探して選択します。
6. 必要に応じて名前を変更します。
7. ［**OK**］をクリックします。
8. ［**閉じる**］をクリックします。

ファイル ブラウザでジョブ フォルダを参照して、ホット フォルダが作成されていることを確認できます。

ジョブ属性とステータスの設定

Prinergy Direct はほとんどのジョブ情報を自動的に生成しますが、いくつかのジョブ属性を任意で定義することができます。ジョブ属性は、ジョブを作成する際、またはその後に［ジョブ ファインダ］で定義することができます。ジョブの属性には、以下が含まれます。

- プルーフの納期および最終出力の納期
- ジョブ コード
- 作成済みから完了までのジョブ ステータス

ジョブの属性およびジョブのステータスを設定するには

➢ ［ジョブ ファインダ］の［**編集**］メニューで、［**ジョブ属性の編集**］を選択します。

カラーの編集

Prinergy Direct は、スポット カラーに関する情報を保存します。PANTONE® ファクトリライブラリは、Prinergy Direct の標準機能です。各ファクトリ ライブラリは、15,000 以上の PANTONE カラーのカラー定義で構成されています。

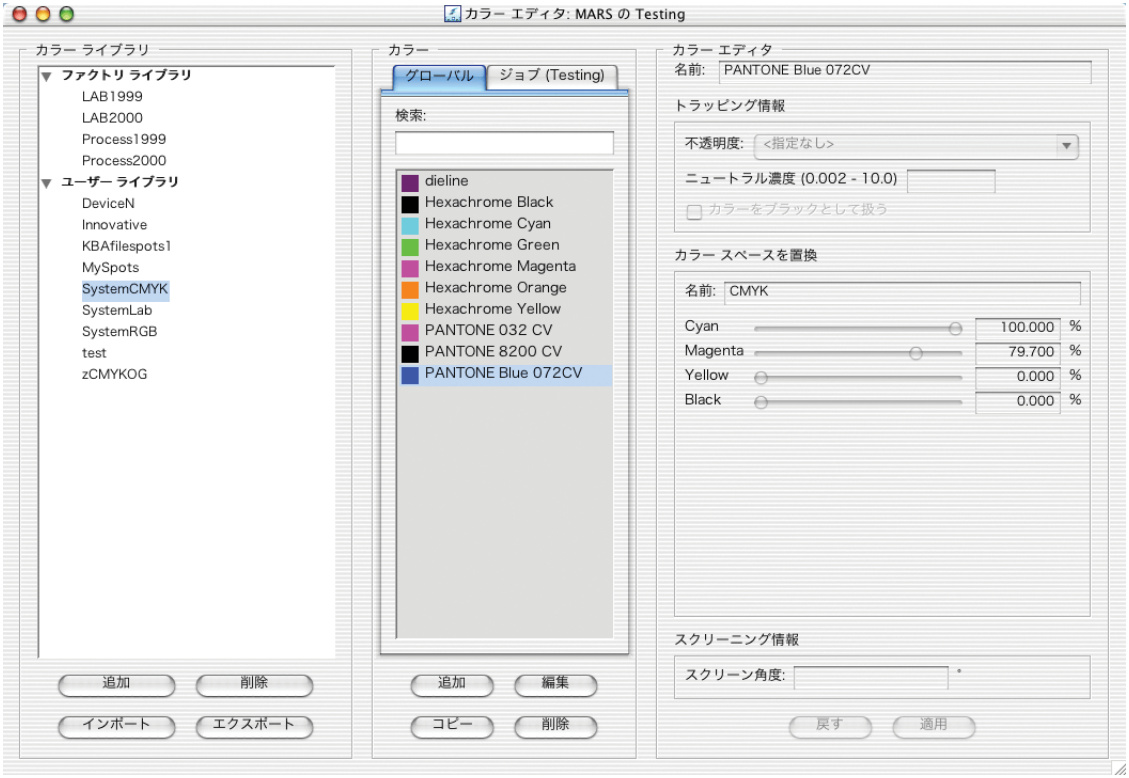
各カラー ライブラリは、RGB、CMYK、L*a*b などのカラー スペースに関連付けられており、カラー スペースは ICC プロファイルに関連付けられています。

ファイルを PrinergyPrinergy Direct に追加してリファインすると、Prinergy Direct で PANETONE カラー名を認識し、PANTONE ライブラリの PANETONE カラーと照合し、PANETONE ライブラリからカラー レシピを使用します。

全体または各ジョブで、Prinergy Direct の PANTONE カラーの定義を変更することができます。

カラーを追加するには

➢ ［**ツール**］メニューから、［**カラー エディタ**］を選択します。



フォント処理

フォントは、入力ファイルに組み込んでください。フォントが入力ファイルに埋め込まれていない場合、リファイン プロセスに必ずフォント情報を埋め込むようにします。埋め込むフォント情報は、フォント ベンダーが使用する標準フォーマットではない PFA 形式を使用する必要があります。

フォントが既に入力ファイルに埋め込まれている場合、または PFA 形式で Prinergy Direct に搭載されている基本 193 Adobe® 書体（欧文）のみを使用している場合は、フォント変換を使用する必要はありません。

上記以外の場合は、まずフォント変換を使用してフォントを PFA 形式に変換し、変換したフォントを Prinergy Direct に追加して、フォント検索パスを、Prinergy Direct ジョブに追加します。入力ファイルをリファインする前に実行してください。

フォント変換には、［**グローバル**］と［**ジョブ**］の 2 つのタブが含まれています。［**グローバル**］タブのフォントはホーム サーバー上に保存され、すべてのジョブに使用できます。［**ジョブ**］タブのフォントはジョブ フォルダに保存され、そのジョブでのみ使用できます。

フォント検索パスは、フォントの場所を指定します。フォント検索パスは、ジョブの新規作成時に既存のジョブからコピーできますが、後で［ジョブ マネージャー］から設定することも可能です。

フォントを変換するには

➢ ［**ツール**］メニューから［**フォント変換**］を選択します。

フォント検索パスを設定するには

➢ ［ジョブ マネージャー］の［**ジョブ**］メニューから、［**フォント検索パス**］を選択します。

画像検索パスの追加

OPI で低解像度の代わりに高解像度の画像を使用する場合は、Prinergy Direct が画像ファイルを検索できるように、ジョブに画像検索パスを入力する必要があります。

画像検索パスはジョブを作成する際に既存のジョブからコピーできますが、後で［ジョブ マネージャー］から設定することも可能です。画像検索パスは、入力ファイルのリファイン前に設定する必要があります。

画像検索パスを設定するには

➢ ［ジョブ マネージャー］の［**ジョブ**］メニューから、［**画像検索パス**］を選択します。

5

ファイルの追加と処理

顧客入力ファイルの追加 28
リファイン 28
リファイン時の留意点 29

顧客入力ファイルの追加

ジョブ作成後、Prinergy Direct が読み取れるサーバーまたはディスクから顧客ファイルを追加します。

注意：ジョブをインポートすると、入力ファイルを追加する必要はありません。

Prinergy Direct では、ホット フォルダを使用してファイルを追加し、追加した際にファイルをリファインします。Prinergy Direct は面付けフラットのみ受け取ることができます。

ホット フォルダを使用して自動的に入力ファイルを追加するには

1. ジョブ用のホット フォルダを作成します。22 ページの「ホット フォルダの設定」を参照してください。
2. ホット フォルダを設定して、使用するプロセス テンプレートを選択します。
3. ファイル ブラウザを使用して、入力ファイルを元の場所から **<ジョブ フォルダ>\HotFolders** のホット フォルダへコピーまたはドラッグします。

   また、クリエイティブ ソフトウェアから入力ファイルを直接ホット フォルダに出力することもできます。

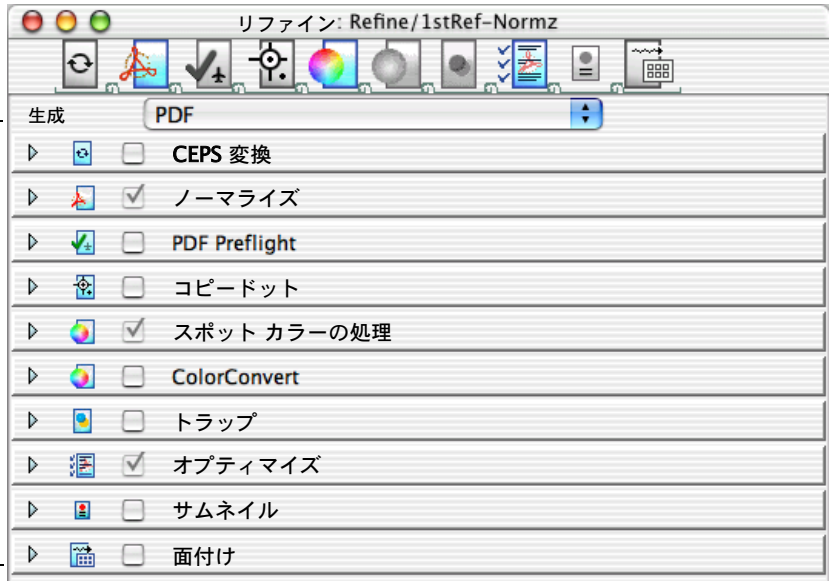
リファイン

リファイン プロセスは、PostScript、EPS、および PDF ファイルを Prinergy Direct が出力できる折丁へ変更します。

Prinergy Direct では、ファイルをホット フォルダに追加すると自動的にリファイン処理が開始します。28 ページの「顧客入力ファイルの追加」を参照してください。ジョブをインポートした場合ではなく、面付けフラットを Prinergy Direct に追加した場合のみ、リファインが必要となります。

リファイン時の留意点

リファイン プロセス テンプレートでの設定によってリファインの動作が制御され、実行される処理段階が決まります。各手順には、リファイン プロセス テンプレートの各段階ごとに設定を行うセクションがあります。



リファイン プロセス テンプレートのセクション

注意：Prinergy Direct では、［**CEPS 変換**］、［**PDF プリフライト**］、［**トラップ**］、および［**サムネイル**］セクションは表示されますが使用できません。

リファイン プロセス テンプレートには、以下のセクションがあります。

- ［**ノーマライズ**］セクションは、Prinergy Direct で処理できる PDF ファイルへの PostScript および EPS ファイルの変換を制御します。
- ［**コピードット**］セクションは、Prinergy Direct がコピードット ファイルを処理する方法を定義します。コピードット ファイルを、たとえば出力デバイスの解像度に一致させるため、指定する解像度にリサンプルできます。
- ［**スポットカラーの処理**］セクションは、Prinergy Direct がスポット カラーをプロセス カラーに変換するかどうか、および Prinergy Direct がファイルに埋め込まれたカラー定義または特定のカラー ライブラリのカラー定義を使用するかどうかを定義します。
- ［**カラー変換**］セクションは、Prinergy Direct がオーバープリントを処理する方法、および ICC プロファイルを使用して入力カラー領域から出力カラー領域へカラー データを変換する方法を定義します。

- ［**オプティマイズ**］セクションは、Prinergy Directが入力ファイルの高解像度画像をオプティマイズする方法および代替の低解像度画像を生成する方法を定義します。
- ［**面付け**］セクションは、Prinergy Direct が、リファイン プロセス後、面付けを自動的に処理する方法を定義します。



注意：Prinergy Directでは、フラット ベースのワークフローを使用する際に、［**面付け**］セクションの［**入力ファイルをフラットとして処理**］を選択する必要があります。17 ページの「面付け済みフラットのワークフロー」を参照してください。

6

プルーフ、プレート、およびフィルム

プルーフ、プレート、およびフィルムの作成 32
出力時の留意点 32
面付けプルーフの作成 33
他のプルーフ方法 34
承認 34
プレートまたはフィルムの作成 35

プルーフ、プレート、およびフィルムの作成

面付けのプルーフを作成することができます。

Prinergy Direct では、以下の方法でプルーフを作成できます。

プルーフ プロセス時に、面付けを校了または却下できます。

プルーフ確認後、プレートまたはフィルムで最終出力を作成します。

プルーフまたは最終出力時に、以下が実行できます。

- 出力のカラー マネジメント
- キャリブレーションの設定
- スクリーニングの設定

出力時の留意点

面付けプルーフまたは最終出力を作成する際は、以下に留意してください。

- 分版
- キャリブレーション
- スクリーニング

分版

［**色版**］表示に切り替えると、各版を確認することができます。



キャリブレーション

出力を作成する際、出力プロセス テンプレートの［**キャリブレーション&スクリーニング**］セクションでキャリブレーションを設定します。

印刷時の色調をコントロールするためにキャリブレーションを行う必要があります。ドット ゲインによりハーフトーン ドットのサイズが変わると、印刷時に色調が変化します。キャリブレーションを行うことにより、版上のドットの正確な大きさを再現し、印刷用紙上の色調やグレー バランスをコントロールします。Harmony ソフトウェアを使用して、印刷時の色調再現をコントロールするキャリブレーション カーブを作成、適用、および管理します。



Harmony についての詳細は、「Harmony ユーザー ガイド」を参照してください。

スクリーニング

出力を作成する際、出力プロセス テンプレートの［**キャリブレーション&スクリーニング**］セクションでスクリーニングを設定します。

以下の方法で、スクリーニング情報を指定できます。

- 他のソフトウェアで作成された PDF ファイルにスクリーニング情報を含める
- 出力プロセス テンプレートでスクリーニング情報を指定する

面付けプルーフの作成

印刷前に面付けを確認するには、プルーファの面付けプルーフを作成して、その結果を確認します。

面付けプルーフを作成するには、面付けプラン プルーフ プロセス テンプレートを使用します。

面付けプルーフを作成するには

1. ［**色版**］表示の［面付けプラン］ウインドウ枠で折丁を選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のプルーフ プロセス テンプレートに、選択した項目をドラッグします。

   詳細については、12 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。

他のプルーフ方法

ハード プルーフを作成しない別の方法を使用してプルーフできます。

Virtual Proofing System ソフトウェア

Creo Virtual Proofing System を使用して、クライアント コンピュータでジョブのソフト プルーフを作成することができます。Virtual Proofing System を使用して、表裏のバックアップ、ドブ、裁ち幅、トンボ、マーク、色分解、トラッピング、およびレイアウトを確認します。

仮想プルーフを作成するには、プルーフするエレメントを選択して、仮想プルーフ用に設定されたプロセス テンプレートを開始します。



Virtual Proofing System に関する詳細は、「Virtual Proofing System ユーザー ガイド」を参照してください。

承認

作成するすべてのプルーフの校了または却下を記録することができます。たとえば、顧客用にページ内容のプルーフを出力する場合、最終プルーフを出力する前にページ内容の承認を示すことができます。校了する前に、まずプルーフを作成しておく必要があります。

承認ステータスの設定後、校了アイコン  または却下アイコン  が、プルーフ プロセスの列に表示されます。

プレートまたはフィルムの作成

プレートまたはフィルムを作成するには、最終出力プロセス テンプレートを使用します。選択したプロセス テンプレートには、出力結果を指定するオプションが含まれます。

フィルムまたはプレートを作成するには

1. ［**折丁**］表示の［面付けプラン］ウインドウ枠から折丁を選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠の最終出力プロセス テンプレートに、選択したエレメントをドラッグします。

   詳細については、12 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。

7

ファイルの管理

ジョブのアーカイブ 38
ジョブの完了 39

ジョブのアーカイブ

ジョブが完了したらジョブ ファイルをアーカイブし、ジョブ ファイルをパージして、その分のディスク領域を開放します。後で必要になった場合、そのジョブ ファイルを読み込めます。

Archiver のライセンスがシステムにある場合のみ、アーカイブ、パージ、および読み込みが可能です。

ジョブ ファイルのアーカイブ、パージ、および読み込みは、それぞれアーカイブ、パージ、および読み込みプロセス テンプレートで制御します。

ジョブをアーカイブするには

1. ［ジョブ マネージャー］でウィンドウの下にあるジョブ ボタンを選択します。
2. ［プロセス テンプレート］ウインドウ枠のアーカイブ プロセス テンプレートに、選択した項目をドラッグします。

   詳細については、12 ページの「プロセスの開始」を参照してください。
3. ［新規レイアウトの詳細］ダイアログ ボックスで、既存のアートワーク セットを選択するか新しいアートワーク セットを作成し、［**OK**］をクリックします。



アーカイブについての詳細は、「Prinergy システム管理ガイド」を参照してください。

アーカイブ情報の表示

アーカイブ後、［ジョブ マネージャー］の［**ストレージ**］表示を使用して、ジョブのファイルに関するアーカイブ情報を表示します。［ストレージ］表示を使用するには、別途ライセンスが必要です。

［**ツール**］メニューから［メディア マネージャー］を使用して、システムのリムーバブル ストレージ メディアに関する情報を表示できます。

ジョブの完了

ジョブまたはプリジョブのステータスを「完了」にし、アクティブでないことを示します。ジョブまたはプリジョブのステータスは、［ジョブファインダ］から手動で「完了」に設定するか、ジョブ全体をパージする際に自動的に設定します。24 ページの「ジョブ属性とステータスの設定」を参照してください。

8 ジョブの監視

アクティブなプロセスのチェック 42
ジョブおよびエレメントに関する情報を見る 44
キュー マネージャーの確認 45
ジョブ履歴の確認 45
システム履歴の確認 46

アクティブなプロセスのチェック

以下の領域で、アクティブな処理状況に関する情報が表示されます。

- ［プロセス］ウインドウ枠
- 動的な列
- ［処理情報］ダイアログ ボックス

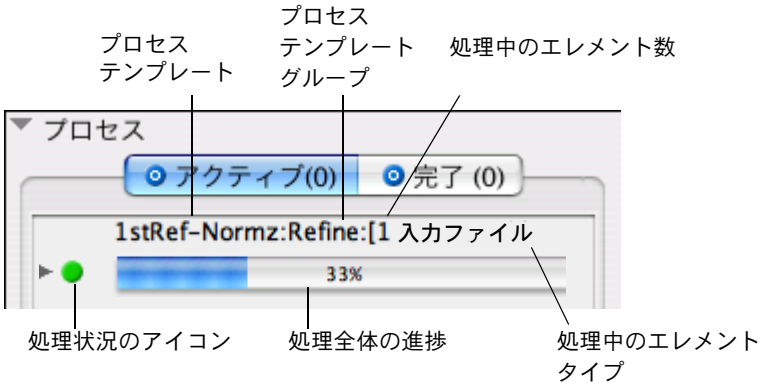
［プロセス］ウィンドウ枠

エレメントの処理を開始すると、［プロセス］ウインドウ枠にアクティブなプロセスが表示されます。このウインドウ枠は、［ジョブ マネージャー］のどの表示でも常に表示され、特定のジョブのアクティブなプロセスおよび完了したプロセスをすべて一覧表示します。

［プロセス］ウインドウ枠は、以下の 2 つのタブで構成されます。

- **アクティブ** — 処理中のプロセスを表示します。
- **完了** — 問題なく完了、警告やエラーが発生して完了、またはエラー終了したプロセス、およびエラー終了のため完了せずに中止されたプロセスが表示されます。

デフォルトでは、プロセスは以下の形式で［プロセス］ウインドウ枠に表示されます。

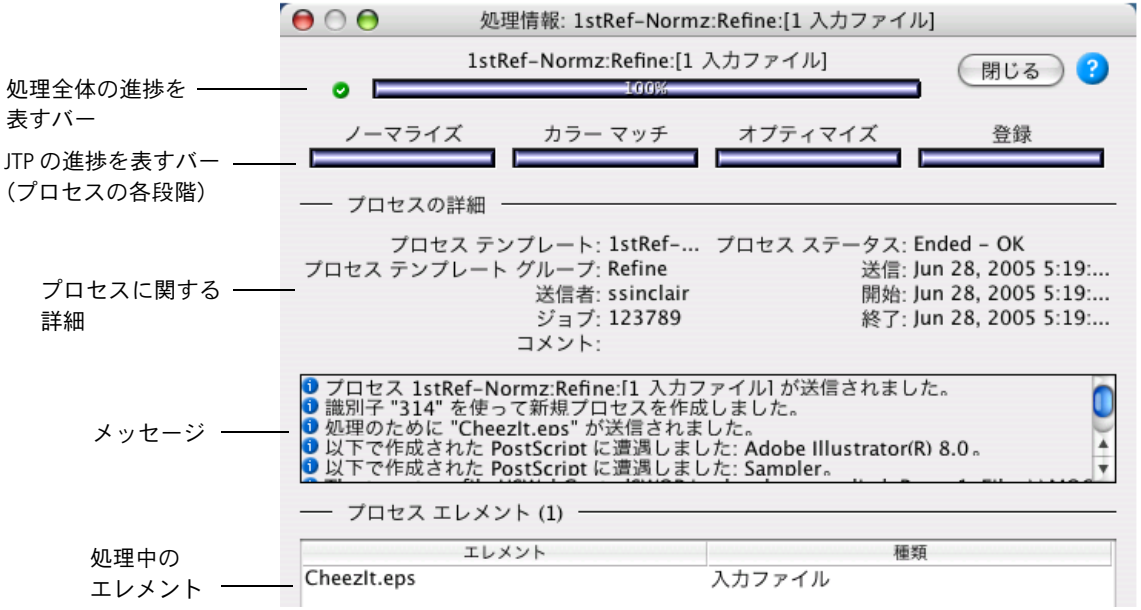


動的な列

各プロセスを開始すると、動的な列が［ジョブ マネージャー］に自動的に表示されます。列には、エレメントの処理に使用したプロセス テンプレートと処理状況が表示されます。

［処理情報］ダイアログ ボックス

［処理情報］ダイアログ ボックスは、関連するエレメントに関するシステム メッセージおよび情報を一覧表示します。



環境設定で、［**プロセスが実行されるときに［処理情報］ウィンドウを表示**］が選択されている場合、ダイアログ ボックスは自動的に表示されます。13 ページの「Workshop のカスタマイズ」を参照してください。［プロセス］ウインドウ枠のアイコンをダブルクリックして、ダイアログ ボックスを手動で表示することもできます。

プロセスが完了した後は、ジョブ履歴でこれらの詳細を参照できます。詳細については、45 ページの「ジョブ履歴の確認」を参照してください。

処理状況のアイコン

アイコンは、プロセスの処理状況を示します。これらのアイコンは、［プロセス］ウインドウ枠、［処理情報］ダイアログ ボックス、および動的な列に表示されます。

処理状況を示すアイコンには、以下の 2 種類があります。

- 処理状況アイコン

   キューに置かれている
   処理中
   一時停止
   ユーザーのアクション待ち

- ステータス アイコン

   警告またはエラーなし
   警告もエラーもなくプロセスを完了
   警告
   エラー

ジョブおよびエレメントに関する情報を見る

［**情報を見る**］メニュー アイテムを使用して、ジョブ、ファイル、または折丁などのエレメントについて、［ジョブ ファインダ］および［ジョブマネージャー］に情報を表示できます。

たとえばジョブに関する情報を表示するには、［ジョブ ファインダ］でジョブ選択し、［**ファイル**］メニューから［**情報を見る**］を選択します。［情報を見る］ダイアログ ボックスが開き、すべてのジョブ属性およびジョブ フォルダとその他のジョブ ファイルのサイズが表示されます。

キュー マネージャーの確認

キュー マネージャーは、サーバーが実行するプロセスをすべて一覧表示します。キュー マネージャーを使用して、プロセスを停止、保留、または再開したり、キューにあるプロセスの優先順位を変更できます。

アクティブでキューにあるプロセスを表示するには

1. ［**ツール**］メニューから［**キュー マネージャー**］を選択します。
2. ［**JTP キュー**］タブまたは［**プロセス タイプ**］タブをクリックします。
   - ［**JTP キュー**］表示は、システムの特定 JTP（ジョブ チケット プロセッサ）のアクティブなプロセスをすべて表示します。
   - ［**プロセス タイプ**］表示では、特定のプロセス タイプのアクティブなプロセスをすべて表示します。
3. JTP タイプまたはプロセス タイプを一覧から選択します。

ジョブ履歴の確認

［ジョブ マネージャー］の［**履歴**］表示を使用して、ジョブ履歴を確認します。

［**履歴**］表示には、各ジョブに関する以下の情報が表示されます。

- ジョブに対して行われた各操作の説明
- 操作が行われた日付と時間
- メッセージの重要度

システム履歴の確認

システム履歴では、ジョブの内容以外の操作に関するメッセージ、およびアーカイブ、パージ、読み込みの履歴を表示します。

たとえば、夜間に複数のジョブをアーカイブした場合、次の日にジョブをそれぞれ開かずにその結果を確認でき便利です。

システム履歴を表示するには

- ［**ツール**］メニューから［**システム履歴**］を選択します。

A

サポートされている ファイル形式

入力ファイル形式 48
出力ファイル形式 48

入力ファイル形式

Prinergy Direct では、以下の入力ファイル形式がサポートされています。

- PDF 1.2、1.3、1.4（分版またはコンポジット）（注意 1 を参照してください。）
- PDF/X-1a:2001、PDF/X-3（注意 1 を参照してください。）
- PostScript レベル 1、レベル 2 および PostScript 3（分版またはコンポジット）
- EPS
- DCS 1 および DCS -2（シングルまたはマルチファイル）
- CT/LW（Brisque および PS/M 5 以上）。（注意 2 を参照してください。）CT および LW の New、Native、および Handshake 形式を含む
- TIFF/IT-P1（注意 2 を参照してください。）

注意：

1. レイヤーまたは JPEG 2000 画像が検出された場合、PDF 1.5 ファイルは処理できません。
2. CEPS JTP のライセンスがある場合のみサポートされます。

出力ファイル形式

Prinergy Direct では、以下の出力ファイル形式がサポートされています。

注意：ライセンスによっては使用できない出力形式もあります。

ベクター形式：

- PDF 1.3（分版またはコンポジット、入力ファイルによって異なる）
- PDF/X-1a:2001
- PostScript 3（分版またはコンポジット、入力ファイルによって異なる）
- PostScript Level 2（分版）
- DCS-2 ベクター
- EPS ベクター

ラスター形式：

- ラスター DCS-2（スクリーン済みまたは連続諧調）
- ラスター EPS（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Virtual Proofing System
- TIFF（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Scitex CT（連続諧調）
- HPRTL（スクリーン済みまたは連続諧調）
- Epson 5000（スクリーン済み）
- Epson 9000（スクリーン済み）
- Kodak Approval TIFF（スクリーン済み）
- Kodak Approval EPS（スクリーン済み）
- JPEG（連続諧調）
- BMP（スクリーン済み）
- CT/LW および TIFF/IT
- LQS TIFF

用語集

Adobe Extreme	商業印刷向けの高性能なシステム アーキテクチャ。Prinergy Direct ではこの技術が中核として採用されています。PDF、PJTF（Portable Job Ticket Format）、および通信構造の下層レイヤーがサポートされます。
CEPS	Color Electronic Prepress System。ページの作成、スキャン、および画像処理に使用されてきた製版専用システム。
Extreme	「Adobe Extreme」を参照してください。
ICC プロファイル	International Color Consortium の略。異なるプラット フォーム、デバイス、およびソフトウェアでカラーを正確に再現するために使用する、カラー スペースの標準。
Job Ticket Processor（JTP）	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は Administrator を使用して設定できます。
JTP	「Job Ticket Processor（JTP）」を参照してください。
OPI	Open Prepress Interface。低解像度のプレースホルダ画像を高解像度の画像で自動的に置換する PostScript の拡張機能です。
RIP（動詞）	Raster Image Processor。PostScript データをラスター（ビットマップ）データに変換するソフトウェア。
アーカイブ	ジョブや関連ファイルを恒久的に保存するために、メディアに書き込むこと。ファイルはコンテキストと共に保存されますが、ジョブ データは Prinergy Direct データベースに残るため、ジョブをシステムに戻すことが可能です。「読み込み」および「パージ（動詞）」を参照してください。
色版	1 つの面のカラー レイヤー
エレメント	折丁または面を含むジョブ内のアイテム。
オプティマイズ	「画像のオプティマイズ」を参照してください。
画像検索パス	ジョブの高解像度画像の保存場所を指定します。Prinergy Direct は、ジョブに追加する入力ファイルに画像が埋め込まれていない場合、画像検索パスを使用します。
画像のオプティマイズ	リファイン プロセスの処理段階の 1 つで、トリミングとダウンサンプルで入力ファイルの画像サイズを縮小します。

カラー マッチ（動詞） 1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合、たとえば、RGB から CMYK に変換する場合に、カラーの整合性を保つこと。Prinergy Direct は ICC プロファイルを使用して、デバイス独立型（デバイスに依存しない）カラー スペースである L*a*b* に割り当てます。

カラー変換 余分なカラーを他のスポット カラーやプロセス カラーに割り当てることにより、出力時に入力ファイルのスポット カラー数を減らすこと。

グループ ジョブやプリジョブの整理に使用します。フォルダ構造に似ていますが、ファイル ブラウザからは確認できません。内部データ構造の一部です。

サーバー ネットワーク経由で接続されているほかのコンピュータに対して、特定のサービスを提供するコンピュータ。

出力 出力には面付けプルーフおよび最終出力（プレートまたはフィルム）の 2 種類があります。これらの出力タイプは、プロセス プラン エディタのプロセス テンプレート タイプに対応しています。

ジョブ 出力するファイルを整理するために使用される単位。ジョブを作成すると、Prinergy Direct が、ジョブ フォルダとジョブを追跡するためのデータベース エントリを作成します。

ジョブ チケット Adobe Extreme で実行する、1 つまたは複数の処理手順に関連した情報を集めたもの。この情報には、どの JTP をどの順序で使用するかを指定したマップまたはルートが含まれています。「Job Ticket Processor（JTP）」および「Adobe Extreme」を参照してください。

ジョブ フォルダ プリジョブやジョブに対するシステム ファイルをすべて保存する、Prinergy Direct サーバー上のフォルダ（またはディレクトリ）。また、ジョブ フォルダには顧客からの入力ファイルを入れることができます。ジョブ フォルダは指定された共有ディレクトリに保存され、ジョブ情報を整理するのに役立つサブ フォルダをいくつでも入れることができます。

ソース ファイル 「入力ファイル」を参照してください。

ソフト プルーフ コンピュータの画面に表示されるプルーフ。通常、Adobe Acrobat や Virtual Proofing System ソフトウェアなどのソフト プルーフィング アプリケーションを使用します。

ダウンサンプル 画像の解像度を低くすることです。Prinergy Direct では、リファイン プロセスで画像のオプティマイズを行ってダウンサンプリングします。ダウンサンプルの値は、リファイン プロセス テンプレートの［**オプティマイズ**］セクションで設定します。

テンプレート ジョブ 他のプリジョブやジョブで使用するホット フォルダ、属性、および画像またはフォント検索パスを含む、プリジョブまたはジョブのこと。新規プリジョブまたはジョブを作成する際のテンプレートとして使用することにより、その新規プリジョブまたはジョブはテンプレートの設定に基づいて処理されます。

動的な列 エレメントが処理されると、Workshop のウィンドウやウィンドウ枠に自動的に項目が表示される列。列には、エレメントおよびプロセス ステータスの処理に使用したプロセス テンプレートが表示されます。

ドット ゲイン ハーフ トーン出力での網点再現の現象で、ハーフ トーン ドットのサイズは実際のもの（物理的ドット ゲイン）と視覚的なもの（光学的ドット ゲイン）では異なります。

入力ファイル 印刷物の内容を含む、顧客（印刷物の発注者）から受け取ったファイル。たとえば、入力ファイルは、Adobe Illustrator のファイルなどの顧客のクリエイティブ デザイン ファイルを PostScript ファイルに出力することによって作成できます。

ノーマライズ PostScript および EPS ファイルを PDF ファイルに変換する Prinergy が行うリファイン プロセスの処理段階の 1 つ。

パージ（動詞） 選択したジョブ ファイルを Prinergy Direct サーバーから削除すること。ジョブのメタデータがデータベースに保持されるため、ジョブはシステムに残ります。「破棄」と比較してください。「アーカイブ」および「読み込み」を参照してください。

破棄 Prinergy Direct システムからジョブおよびその関連情報すべてを永久に削除すること。履歴ログ項目も破棄できます。

プリジョブ ジョブを整理するための単位。ジョブに似ていますが、複数のジョブで使用されているエレメントを保管、またはエクスポートされたジョブを処理します。

プルーフ 用紙または画面などに、最終的に印刷される状態をテストとして出力するもの。*「面付けプルーフ」*も参照してください。

プロセス たとえばリファイン、出力、インポート／エクスポート、およびアーカイブ／読み込み／パージなどのプロセス テンプレートで実行する処理。Prinergy Direct でのその他のすべての処理は操作と呼ばれます。

プロセス テンプレート プロセスの実行方法を Prinergy Direct に伝える、オプションと設定が含まれるファイル。

プロセス テンプレート グループ プロセス テンプレートを組織化する方法。プロセス テンプレート グループは、プロセス テンプレート エディタを使用して作成および管理します。

ホット フォルダ 処理を自動で開始するために、ファイルの受け取りが監視されているフォルダ。定期的にフォルダのある場所をソフトウェアが確認し、検出されたファイルを自動的に処理します。

ボリューム Prinergy Direct サーバー上の共有フォルダ。Administrator を使用してボリュームを追加する必要があります。

ユーザー定義フォルダ フォント、画像、または入力ファイルなどのジョブに関連するファイルを保存するフォルダで、**<job folder>\UserDefinedFolders** フォルダに作成されるユーザー固有のフォルダ。

読み込み メディアに以前アーカイブされた Prinergy Direct システム ファイルを取り戻すこと。「アーカイブ」および「パージ（動詞）」を参照してください。

ラスタライズ ベクター データをピクセル データに変換すること。

リファイナ リファイン プロセスを実行するソフトウェア コンポーネント。リファイナがどのように作動するかは、選択したリファイン プロセス テンプレートによって異なります。「リファイン」も参照してください。

リファイン ノーマライズ、カラー変換、サムネイル生成および多くのほかの機能を含むプロセス。

レンダラー PDF 入力ファイルをラスター化し、スクリーニングするソフトウェア コンポーネント。

ワークフロー テンプレート ワークフロー テンプレートはプロセス テンプレートを組み合わせてリンクしたもので、自動化を促進します。

索引

A

Adobe 基本書体 , 25

B

BMP ファイル , 49

C

CT/LW ファイル , 48, 49

D

DCS 1 ファイル , 48
DCS-2 ファイル , 48
DCS-2 ベクター ファイル , 48
Director、 説明 , 3

E

Epson 5000 ファイル , 49
Epson 9000 ファイル , 49
EPS ファイル , 48
EPS ベクター ファイル , 48

H

Harmony, 33
HPRTL ファイル , 49

I

ICC プロファイル , 24

J

JPEG 2000 ファイル , 48
JPEG ファイル , 49

K

Kodak Approval EPS ファイル , 49
Kodak Approval TIFF, 49

L

LQS TIFF ファイル , 49

O

OPI, 26
Oracle, 4

P

Pandora
　定義済み , 4
PANTONE カラー ライブラリ , 24
PDF 1.2 ファイル , 48
PDF 1.3 ファイル , 48
PDF 1.4 ファイル , 48
PDF 1.5, 48
PDF/X-1a ファイル , 48
PDF/X-3 ファイル , 48
PFA 形式 , 25
PostScript 3 ファイル , 48
PostScript レベル 1 ファイル , 48
PostScript レベル 2 ファイル , 48
Preps
　定義済み , 4
Prinergy
　システム , 4
　システム ソフトウェア , 4
　システム ハードウェア , 4
　詳細 , 2
　製品群 , 3
　説明 , 3
Prinergy Connect、 説明 , 3
Prinergy Direct、 説明 , 3
Prinergy Powerpack、 説明 , 3
Prinergy サーバー、 Oracle データベース , 4
Printer Font ASCII (PFA) 形式 , 25

S

Scitex CT ファイル , 49
Synapse InSite
　プルーフの校了 , 34

T

TIFF/IT-P1 ファイル , 48
TIFF/IT ファイル , 49
TIFF ファイル , 49

V

Virtual Proofing System, 34
Virtual Proofing System ファイル , 49

W

Workshop
　開始 , 8
　カスタマイズ , 13
　ハードウェア , 4
　はじめに , 4
［Workshop 環境設定］ ダイアログ ボックス , 13
Workshop のカスタマイズ , 13
Workshop の起動 , 8

あ

アーカイブ , 38
アーカイブしたファイル , 38
アーカイブ ジョブの読み込み , 38
アーキテクチャ , 4
アートワーク セット
　情報を見る , 44
アイコン , 43
　承認ステータス , 34
　処理状況 , 44
　プロセス , 44
　ユーザーによる操作の待機 , 44
［アクティブ］ タブ、［プロセス］ ウインドウ枠 , 42

い

一覧
　並べ替え , 14
　表示または非表示 , 14
一覧の展開 , 14
［色版］ 表示 , 10, 32
インポート
　追加 , 21
　ホット フォルダの使用 , 21
インポート（追加分）, 21

う

ウィンドウ
　ジョブ ファインダ, 9
　列, 13

え

エレメント
　概要, 12
　処理, 12
　情報を見る, 44
エレメントに関する情報を見る, 44
エレメントの並べ替え, 14
遠隔拠点へのジョブの転送, 16

お

オーバープリント, 29
お気に入り、ユーザーおよびジョブ, 14
オプティマイズ セクション、リファイン プロセス テンプレート, 30
折丁
　情報を見る, 44
オンライン ヘルプ
　アクセス方法, 2
　用途, 2

か

カラー
　Prinergy での設定, 25
　値、代用, 25
　色版, 32
　スペース, 24
　変換, 29
　ライブラリ, 24
カラー印刷順序, 32
カラー エディタ, 25
カラー スペース、代用, 25
カラー変換セクション、リファイン プロセス テンプレート, 29
環境設定、設定, 13
［完了］タブ、［プロセス］ウインドウ枠, 42
完了のステータス, 24
ガイド、説明, 2
画像検索パス
　設定, 26
　定義済み, 51
画像のオプティマイズ, 30

き

却下アイコン, 34
キャリブレーション, 33
［キャリブレーション&スクリーニング］セクション, 33
キュー マネージャー, 45

く

クライアント
　説明, 4
　ソフトウェア, 4
　ハードウェア, 4
クライアント サーバー アーキテクチャ, 4

け

検索パス
　画像, 26
　フォント, 26

こ

校了アイコン, 34
コード、ジョブ, 24
顧客入力ファイル「入力ファイル」を参照
コピー
　画像検索パス, 26
　テンプレート ジョブからの設定, 20
　フォント検索パス, 26
コピードット セクション、リファイン プロセス テンプレート, 29
コピードット ファイル処理, 29
コピードット ファイルのリサンプリング, 29
コンテキスト センシティブ ヘルプ, 2

さ

サーバー
　ソフトウェア, 4
最終出力
　キャリブレーション, 33
　スクリーニング, 33
最終出力の納期, 24
最終出力プロセス テンプレート, 11, 35
作成
　ジョブ, 20
　面付けプルーフ, 33
作成済みステータス, 24
サポートされている出力ファイル, 48
サポートされているファイル形式
　出力, 48
　入力, 48

し

システム アーキテクチャ, 4
システム管理ガイド, 2
システムの概要, 4
システム履歴ツール, 46
出力プロセス テンプレート
　キャリブレーション, 33
　［キャリブレーション&スクリーニング］セクション, 33
　スクリーニング, 33
処理
　情報の表示, 43
処理状況アイコン, 42, 44
［処理情報］ダイアログ ボックス
　アイコン, 44
　説明, 43
自動化
　ホット フォルダ, 22
　レイアウト, 30
［情報を見る］メニュー アイテム, 44
ジョブ
　アーカイブ情報, 38
　インポート, 16, 21
　インポートによる作成, 21
　エクスポート, 16
　遠隔拠点へのジョブの転送, 16
　監視, 42
　完了のステータス, 39
　キュー, 45

作成, 20
情報の表示, 44
情報を見る, 44
ジョブ ファインダ, 9
設定, 20
属性の設定, 24
テンプレート, 20
入力ファイルの追加, 22
入力ファイルのリファイン, 28
非アクティブ化, 39
ファイルの追加, 28
複数のジョブの
ステータス確認, 46
優先順位, 45
履歴, 45
ジョブ グループ, 9
ジョブ コード, 24
ジョブ ステータス, 24
ジョブ属性, 24
ジョブのインポート, 16, 21
ジョブのエクスポート, 16
ジョブの監視, 45
ジョブの非アクティブ化, 39
ジョブ ファインダ
サンプル ウィンドウ, 9
列の非表示, 13
列の表示, 13
ジョブ マネージャー
［色版］表示, 10, 32
［ストレージ］表示, 10, 38
表示, 10
［プロセス］ウインドウ枠, 42
［履歴］表示, 10, 45
列の非表示, 13
列の表示, 13

す

スクリーニング, 33
角度, 25
出力プロセス
テンプレート, 33
ステータス、ジョブ, 24
ステータス アイコン, 42, 44
ステップ＆リピート
情報を見る, 44
ステップ＆リピート、表示, 32
［ストレージ］表示, 10, 38
スポット カラー
CMYK への変換, 29
維持, 29
カラー印刷順序の設定, 32
カラー データベース, 24
カラー データベース内の
情報, 25
処理, 29
変換, 29
スポット カラーの処理、リファイン
プロセス テンプレート, 29
スポット カラーの変換, 29, 32

せ

設定
お気に入りのプロセス
テンプレート, 14
ジョブ, 20

そ

ソフトウェア
サーバー, 4
ソフト プルーフ, 34
属性、ジョブ, 24

た

単面アートワーク
情報を見る, 44
代替
画像、生成, 29, 30
代用
カラー スペース, 25
カラー値, 25

つ

「追加と処理」ファイル ホット
フォルダ, 22
追加入力ファイル専用ホット
フォルダ, 22
追跡
アクティブなプロセス, 42
ジョブ, 45

て

低解像度画像、生成, 29, 30
テンプレート
プロセス「プロセス テンプ
レート」を参照
テンプレート ジョブ, 20
データベース, 4
データベース、カラー, 24

と

動的な列, 43
アイコン, 44
概要, 14
定義済み, 53

に

ニュートラル濃度, 25
入力ファイル
形式, 48
情報の表示, 44
情報を見る, 44
ジョブに追加, 22, 28
スポット カラーの変換, 29
定義済み, 53
リファイン, 28

の

ノーマライズ, 29
ノーマライズ セクション、リファイ
ン プロセス テンプレート, 29

は

ハブ＆スポーク ワークフロー, 16
パージ, 38
パス
画像検索, 26
フォント検索, 26

ひ

非表示
一覧, 14
列, 13
表示
アクティブでキューにある
プロセス, 45
一覧, 14

色版, 10
エレメントに関する情報, 44
処理状況に関する情報, 43
ジョブ属性, 44
ジョブ マネージャー, 10
ジョブ履歴, 45
ストレージ, 10
履歴, 10
列, 13
表示項目, 13
表示または非表示
エレメントの一覧, 14
列, 13

ふ

ファイル
出力用にサポートされている形式, 48
処理, 12
入力ファイル形式, 48
フィルム, 35
フォルダ、ホットト「ホット フォルダ」を参照
フォント
検索パス, 26
処理, 25
変換, 25
フォント検索パス
コピー, 26
不透明度, 25
フラット ベース ワークフロー, 17
プリジョブ
インポート ホット フォルダのある, 21
使用, 22
設定, 22
プルーフ
Virtual Proofing System, 34
校了, 34
ソフト, 34
定義済み, 53
面付け, 33
プルーフの校了, 34
プルーフの納期, 24
プレート, 35
プレートまたはフィルムへの出力, 17
プロセス
一時停止, 45
開始, 12, 45
監視, 42
管理, 45
停止, 45
優先順位、設定, 45
［プロセス］ウインドウ枠, 42
アイコン, 44
プロセス テンプレート
アーカイブ, 11
インポート, 11
お気に入り, 14
概要, 11, 12
最終出力, 11
ショートカット, 14
パージ, 11
面付けプラン プルーフ, 11
読み込み, 11
リファイン, 11
プロセス テンプレートへのショートカット, 14
プロセス テンプレートをアーカイブ, 11
プロセス テンプレートをインポート, 11
プロセス テンプレートをパージ, 11
プロセス テンプレートを読み込む, 11

へ

ヘルプ、オンライン
アクセス方法, 2
用途, 2
［ヘルプ］メニュー, 2
変換
カラー, 29
スポットカラーを CMYK に, 29
フォント, 25
ページ
情報を見る, 44

ほ

ホット フォルダ, 22
インポート, 21

め

面付け、自動, 30
面付け済みフラットのワークフロー, 17
面付けセクション、リファイン プロセス テンプレート, 30
面付けプラン プルーフ プロセス テンプレート, 11
面付けプルーフ, 33

ゆ

ユーザー インターフェイス、Prinergy, 4

ら

ライセンス, 3
ライブラリ、カラー, 24
ラスター DCS-2 ファイル, 49
ラスター EPS ファイル, 49

り

リファイン
スポット カラーの処理, 29
ノーマライズ, 29
リファインの時期, 28
リファイン プロセス テンプレート, 11, 29
リファイン プロセス テンプレート
［オプティマイズ］セクション, 30
カラー変換セクション, 29
［コピードット］セクション, 29
スポット カラーの処理, 29
ノーマライズ セクション, 29
面付けセクション, 30
リファイン プロセス テンプレートの［カラー変換］セクション, 29
履歴
システム履歴, 46
［履歴］表示, 45
［履歴］表示, 10, 45

れ

レイアウト、自動, 30
レイヤー
　および PDF 1.5, 48
レシピ、スポット カラー , 24
列
　エレメントの並べ替え , 14
　自動的に挿入 , 14
　タイトル , 14
　動的な「動的な列」を参照
　表示または非表示 , 13
列の非表示 , 13
列の表示 , 13

ろ

ログイン , 8

わ

ワークフロー
　インポート／エクスポート , 16
　ハブ＆スポーク , 16
　面付け済みフラット , 17
ワークフローのインポート／エクス
　ポート , 16

www.creo.com | creo™